

- 問1 鎌倉時代の13世紀後半、元軍が日本に襲来した「元寇」に関連する記述として、当時の執権であった北条時宗が執った行動やその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 幕府の権威を固めるため、日本で最初となる武家独自の法律「御成敗式目」を制定し、裁判の公平化によって御家人の支持を得ようとした。 | 2. 元の皇帝フビライ・ハンの要求を受け入れ、日宋貿易をさらに拡大させることで武力衝突の回避を図った。 | 3. 室町幕府の権力を強化するため、明との間で勘合貿易を開始し、対外的な緊張を緩和させる政策を採用した。 | 4. モンゴル帝国からの服属要求を拒絶し、九州の博多湾沿岸に防塁を築くなどして防衛体制を整えた。 |
|--|---|--|--|
- 問2 鎌倉時代の文学に関する記述として、後鳥羽上皇の命によって編纂された和歌集の名称と、その時代の文化的な背景を説明したものとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 後鳥羽上皇が編纂を命じた『古今和歌集』であり、国風文化の確立を象徴している。 | 2. 運慶が編纂を命じた『万葉集』であり、素朴で力強い武士の心を詠んでいる。 | 3. 井原西鶴が編纂した『浮世草子』であり、町人の日常生活をリアルに描いている。 | 4. 後鳥羽上皇が編纂を命じた『新古今和歌集』であり、公家社会に受け継がれた伝統的な文化の一端を示している。 |
|---|--|--|--|
- 問3 1221年に後鳥羽上皇が兵を挙げた承久の乱の結果、鎌倉幕府が京都に新しく設置した役職は何ですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|----------|--------|
| 1. 侍所 | 2. 政所 | 3. 六波羅探題 | 4. 問注所 |
|-------|-------|----------|--------|
- 問4 鎌倉時代、モンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ襲来した出来事は「元寇」と呼ばれます。この二度の戦いの名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 前九年の役・後三年の役 | 2. 保元の乱・平治の乱 | 3. 文禄の役・慶長の役 | 4. 文永の役・弘安の役 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
- 問5 鎌倉時代の社会経済の変化について述べた文として、当時の農業の発展が流通に与えた影響を説明しているものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 全国に貨幣が流通したため、農民は年貢を米ではなく全て現金を納める形式に変更した | 2. 幕府が「楽市・楽座」の政策をとったため、定期市の開催頻度が毎日に変更された | 3. 農業生産力の向上により余剰産品が生まれたため、寺社の門前などで定期市が開かれるようになった | 4. 特権を持つ商人が「座」を結成し、二毛作で収穫した麦を独占的に販売する仕組みが全国で完成した |
|--|--|--|--|
- 問6 鎌倉時代、承久の乱の後に三代執権の北条泰時が制定した、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた日本初の武家法律を何といいますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 公事方御定書 | 3. 建武式目 | 4. 武家諸法度 |
|----------|-----------|---------|----------|
- 問7 鎌倉幕府において、将軍と御家人は土地を仲立ちとした主従関係で結ばれていました。将軍が御家人の先祖伝来の領地の所有権を認めたり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりした行為を何といいますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 安堵 | 2. 寄進 | 3. 御恩 | 4. 奉公 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた戦いの結果、幕府が朝廷の監視と西日本の統治を強化するために京都に設置した機関はどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|----------|-------|
| 1. 鎌倉府 | 2. 京都所司代 | 3. 六波羅探題 | 4. 侍所 |
|--------|----------|----------|-------|
- 問9 江戸時代の俳人・松尾芭蕉が『奥の細道』において、北上川を望む高館（源義経の居館跡）を訪れた際、かつての奥州藤原氏の栄華をしのんで詠んだ句に関連する記述として、正しいものを選びなさい。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼした後に守護・地頭を全国に設置し、支配を固めた。 | 2. 松尾芭蕉が訪れた際、平泉には奥州藤原氏によって建立された金閣が残っていた。 | 3. 奥州藤原氏は、京都の文化を積極的に取り入れ、平等院鳳凰堂を平泉に建立した。 | 4. 源頼朝は、奥州藤原氏が独占していた日宋貿易の権利を奪うために平泉を攻めた。 |
|--|--|--|--|
- 問10 源頼朝が再建に協力した東大寺南大門などの歴史的背景に関連して、当時の幕府が地方統治のために導入した「守護」の役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 国ごとに設置され、大犯三箇条と呼ばれる軍事・警察的な権限を行使した。 | 2. 荘園や公領ごとに設置され、土地の管理や年貢の徴収を直接担当した。 | 3. 幕府の最高機関として、執権を補佐し政治全般の合議を行った。 | 4. 朝廷から直接派遣され、地方行政の全般や租税の徴収を司った。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問11 平氏が壇ノ浦の戦いで滅亡した後、源頼朝は関東を本拠地として武家政権の確立を進めました。頼朝が平氏討伐に協力した弟の義経を追放した際、義経をかくまったことを理由に軍を送り込み、平泉を拠点としていた勢力を滅ぼした出来事を何といいますか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-----------|------------|------------|
| 1. 奥州藤原氏の征伐 | 2. 元寇への対応 | 3. 島原の乱の鎮圧 | 4. 承久の乱の鎮圧 |
|-------------|-----------|------------|------------|
- 問12 源頼朝が1185年に守護・地頭を設置する権利を認めさせ、1189年に奥州藤原氏を滅ぼしたことによって達成された、歴史的な意義として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 朝廷から政権を完全に奪取し、天皇に代わって新しい法律を制定した。 | 2. 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。 | 3. 東北地方の金などの資源を独占し、宋との貿易を拡大させた。 | 4. 上皇による院政を停止させ、貴族による政治を完全に終了させた。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 鎌倉時代に栄西（えいさい）などの僧によって中国（宋）から伝えられた、座禅を組んで自ら悟りを開こうとする教えを何というか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 日蓮宗 | 2. 禅宗 | 3. 浄土真宗 | 4. 浄土宗 |
|--------|-------|---------|--------|
- 問14 13世紀にモンゴル帝国（元）を訪れたベネチア出身の商人で、帰国後にアジア各地の見聞を『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめ、ヨーロッパの人々に東洋への強い関心を持たせた人物は誰ですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|--------|---------|
| 1. コロンブス | 2. マルコ・ポーロ | 3. ルター | 4. マゼラン |
|----------|------------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 モンゴル帝国からの服属要求を拒絶し、九州の博多湾沿岸に防塁を築くなどして防衛体制を整えた。	北条時宗は、元からの度重なる使者を追い返し、武力での対抗を選択しました。一度目の襲来（文永の役）の経験を踏まえ、二度目の襲来（弘安の役）に備えて博多湾の海岸線に大規模な石垣（防塁）を構築させたほか、異国警固番役を設けて御家人たちに九州の警備を命じました。他の選択肢は、北条泰時（御成敗式目）や足利義満（勘合貿易）に関連する内容です。
問2	答え 4 後鳥羽上皇が編纂を命じた『新古今和歌集』であり、公家社会に受け継がれた伝統的な文化の一端を示している。	鎌倉時代には武士の文化が台頭する一方で、京都の公家社会でも伝統的な文化が守られていました。後鳥羽上皇の命で編纂された『新古今和歌集』は、その代表例です。選択肢にある『古今和歌集』は平安時代のもの、『万葉集』は奈良時代のもです。また、『浮世草子』は江戸時代の元禄文化に関連するものであり、鎌倉文化とは区別する必要があります。
問3	答え 3 六波羅探題	承久の乱で朝廷側の軍に勝利した鎌倉幕府は、敗れた後鳥羽上皇らを流罪に処しました。さらに、それまで京都の警備を担っていた京都守護に代わり、朝廷の動きを常に監視し、西国の武士を統制するための機関として六波羅探題を設置しました。
問4	答え 4 文永の役・弘安の役	13世紀後半、フビライ・ハン率いる元軍は1274年と1281年の二度にわたって九州北部に襲来しました。1274年の襲来を文永の役、1281年の襲来を弘安の役と呼びます。鎌倉幕府は北条時宗を中心にこれに応戦し、暴風雨の影響などもあって元軍を退けました。
問5	答え 3 農業生産力の向上により余剰産品が生まれたため、寺社の門前などで定期市が開かれるようになった	二毛作の普及や肥料の改善によって農業生産力が向上すると、農民は自給分以外の余った農産物を売買するようになりました。これにより、交通の要所や寺社の門前などで、月に3回などの決まった日に「定期市」が開かれるようになり、商業が活発化しました。鎌倉時代は幕府の執権として北条氏が政治を行っていた時期にあたります。
問6	答え 1 御成敗式目	鎌倉幕府の三代執権である北条泰時は、武士の間で土地をめぐる争いが増えたことを背景に、公平な裁判を行うための基準を設けました。これが日本初の武家独自の法律となり、貞永元年に制定されたことから「貞永式目」とも呼ばれます。江戸時代の武家諸法度や公事方御定書と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 3 御恩	鎌倉幕府の基盤は、将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」という主従関係にありました。将軍側が行う、御家人の領地を保護・付与する行為が「御恩」と呼ばれます。具体的には、元々持っていた土地を保証する「本領安堵」や、戦功に対して新しい土地を与える「新恩給与」がありました。これに対し、御家人が軍役や番役を果たすことが「奉公」です。
問8	答え 3 六波羅探題	承久の乱で勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流し、朝廷の動きを厳しく監視するために六波羅探題を設置しました。これに加えて、朝廷側に味方した貴族や武士の領地を没収し、そこに東国の御家人を「地頭」として新たに任命したことで、幕府の支配力は西日本へも大きく広がることとなりました。
問9	答え 1 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼした後に守護・地頭を全国に設置し、支配を固めた。	源頼朝は奥州藤原氏を滅ぼす前後で、全国に守護（軍事・警察）と地頭（年貢の徴収・管理）を置く権利を朝廷から認めさせ、鎌倉幕府の基盤を盤石なものにしました。平泉の代表的な建築物は中尊寺金色堂であり、平等院（宇治）や金閣（京都）とは異なります。
問10	答え 1 国ごとに設置され、大犯三箇条と呼ばれる軍事・警察的な権限を行使した。	鎌倉幕府は地方支配を強化するため、国単位で守護を設置しました。守護の職務は、謀反人の捜索や逮捕、殺人者の逮捕、および夜番の勤め（京都大番役）の催促といった軍事・警察的な業務（大犯三箇条）が中心でした。地頭が荘園単位で配置され経済的な実権を握っていたのに対し、守護は国単位の軍事的な統括を担ったのが特徴です。
問11	答え 1 奥州藤原氏の征伐	源頼朝は、対立した弟の源義経をかくまった奥州藤原氏を滅ぼすため、1189年に大規模な軍勢を東北地方へ送り込みました。これにより、平泉を中心とした奥州藤原氏の勢力は滅亡し、頼朝は日本全域にわたる軍事的な支配権を固めることとなりました。
問12	答え 2 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。	壇ノ浦の戦いで平氏を滅亡させた後、源頼朝は源義経の追捕を名目に、守護・地頭の設置を朝廷に認めさせました。その後、義経を保護していた奥州藤原氏を1189年に滅ぼしたことで、東北地方までを含む強力な武家政権の基盤が確立されました。これにより、土地の管理や警察権を武士が握る鎌倉幕府の支配体制が全国的なものとなりました。
問13	答え 2 禅宗	鎌倉時代に宋西が宋から伝えた禅宗は、座禅を修行の基本とし、自分を見つめ直すことで悟りを目指す宗派です。この教えは、自分自身の精神を鍛えることを重視したため、当時の武士たちに強く支持されました。
問14	答え 2 マルコ・ポーロ	モンゴル帝国のフビライ・ハンに仕えたマルコ・ポーロは、アジア各地の文化や社会の様子を口述し、それが『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめられました。この書物は当時のヨーロッパにおいて未知の世界であったアジアの情報を伝える貴重な史料となり、後の大航海時代への伏線となりました。